

# 清涼飲料水 統計 2021

**JAPAN SOFT DRINK STATISTICS 2021** 



#### 「清涼飲料水 統計 2021」(完全版)販売のお知らせ

本誌に掲載しきれなかった詳細および過去の統計などをエクセルデータにて販売しております。当連合会ホームページをご覧ください。

- 清涼飲料水品目別分類定義
- 各種飲料の生産量 1940~2020年
- 各種清涼飲料水の販売金額 1974~2020年
- 容器別の生産量 1996~2020年
- 自社(グループ)・委託製造量割合推移 1997~2020年
- 清涼飲料水の有糖・無糖比率 2018~2020年
- 特定保健用食品 2020年
- 機能性表示食品 2020年
- 清涼飲料水ブランド一覧表

#### 販売の詳細について

一般社団法人全国清涼飲料連合会 総務部

TEL. 03-6260-9260(代表) URL: http://www.j-sda.or.jp

# 目次

トピックス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
2020年 清涼飲料水品目別生産量 (ダイジェスト)・・・・・・・・・・ 2
●2020年 清涼飲料水品目別生産量シェア
●清涼飲料水品目別生産量推移(2011~2020年)
<b>2020年 清涼飲料水品目別販売金額</b> (ダイジェスト)・・・・・・・・・・
●2020年 清涼飲料水品目別販売金額シェア
●清涼飲料水品目別販売金額推移(2011~2020年)
2020年 清涼飲料水容器別生産量 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
●2020年 清涼飲料水容器別生産量シェア
●清涼飲料水容器別生産量推移(2011~2020年)
データ
●2020年 生産量·販売金額の推移······· <b>{</b>
●2020年 容器別品目別生産量(ダイジェスト) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
●清涼飲料水の商品数·新商品数·······12
特定保健用食品(トクホ)・機能性表示食品の生産量
●自社(グループ)・委託製造量割合推移2016~2020年 · · · · · · · · · 13
清涼飲料業界2020年 10大ニュース
<b>分類 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</b>
 25.24

#### トピックス

#### 2020年の清涼飲料水業界

# 生産量はコロナ禍の影響で2年連続マイナス

清涼飲料水は、食品業界で最大規模の産業です。多様化する消費者ニーズに合わせた商品の提案や、猛暑など 環境の変化に伴い、消費量は右肩上がりで推移してきました。

生産量は2015年に2,000万kℓを突破、18年に過去最高となる2,274万kℓに達しましたが、20年は新型コロナウイルスの感染拡大が、飲料業界へも大きな打撃を与え、前年比95.1%の2,157万9,000kℓと2年連続のマイナスで着地しました。販売金額は容器構成の変化などもあり、7%減の3兆7,978億円と4兆円を割り込みました。コロナ禍では、緊急事態宣言などによる外出自粛や飲食店の営業短縮で、消費者の飲用スタイルが変化。飲用場所は外出先やオフィスから家庭内での比重が増え、購買チャネルはコンビニエンスストアや自販機チャネルが落ち込み、ECでの購買が増えました。それらのことから、小型容器の製品が減り、大型製品の需要が高まりました。20年は最盛期の7月が天候不順で、梅雨明けが例年に比べて遅れたことも響きました。

#### 家庭内需要の高まりでミネラルウォーターが伸長

品目別でみると、炭酸飲料はここ数年伸長してきましたが、20年は2年連続でマイナスとなりました。炭酸水や栄養ドリンク炭酸は引き続きプラスとなったものの、コーラ炭酸やフレーバー炭酸はマイナス。茶系飲料は、最大量の緑茶飲料は前年並みとなりましたが、ここ数年大きく伸長を続けていたむぎ茶飲料がマイナスに転じ、ウーロン茶、ブレンド茶もマイナスとなりました。嗜好性の高い紅茶飲料は、外出機会の減少などが影響したことで、マイナスに転じました。

ミネラルウォーターは、コロナ禍で家庭内の需要が伸び、ECや宅配水などのチャネルが伸長したことで6%増となりました。コーヒー飲料は、在宅勤務の増加などでショート缶が減少し、さらにPETボトル飲料も伸び悩んだことから、厳しい状況となりました。

また、健康意識の高まりから、野菜飲料や豆乳飲料は堅調に推移しました。

#### 容器別では、PETボトルのシェアが76%に

容器別の生産量をみると、全体のシェアはPETボトルが76%、缶が11%、紙が8.6%、びんが1%、その他容器が3.4%となりました。20年はいずれの容器もマイナスになりましたが、PETボトルは他の容器に比べマイナス幅が小さかったことから、シェアを上げました。

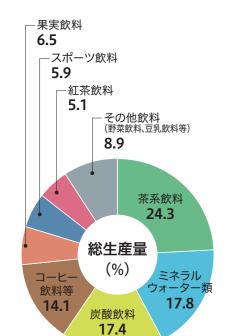
また、PETボトルのサイズ別内訳をみると、中型が全体の67%、大型が28%、小型が5%と500mℓ容器を中心とした小型容器が全体の半数以上占めています。

# 2020年 清涼飲料水品目別生産量 (ダイジェスト)

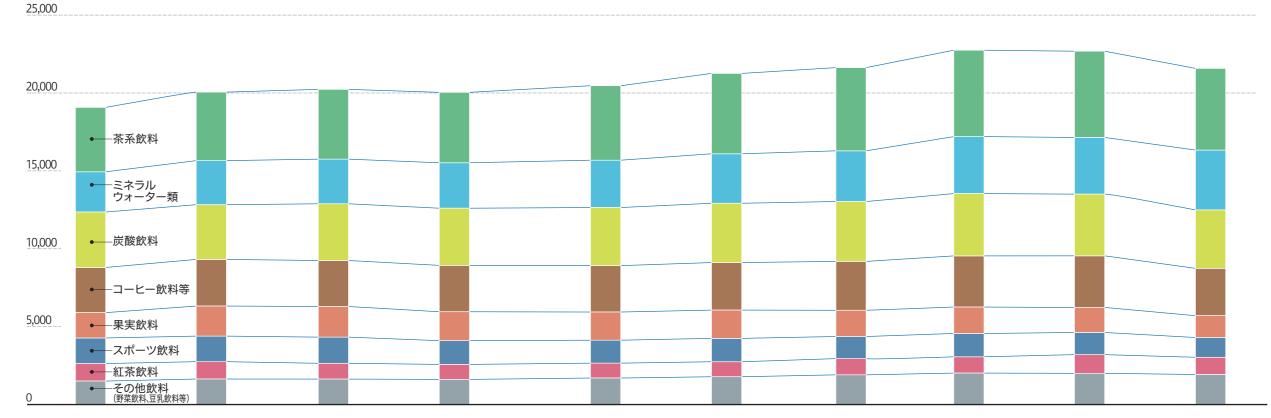
品目別の生産量は、20年は茶系飲料がトップでシェア24%、ついでミネラルウォーターが炭酸飲料を抜き初めて No.2の品目となりました。炭酸飲料、コーヒー飲料と合わせ、この4品目で全体の74%を占めます。増減でみると、ミネラルウォーターはコロナ禍で家庭内需要が伸びましたが、茶系飲料や炭酸飲料、コーヒー飲料はマイナスと なりました。一方で、健康意識のあらわれから、野菜飲料や豆乳飲料は堅調に推移しました。

(千kℓ)

# 2020年 清涼飲料水 品目別生産量シェア



#### 清涼飲料水品目別生産量推移(2011~2020年)



(単位: kℓ)

年	2011(平成	23)	2012(平成	(24)	2013(平成	25)	2014(平成	26)	2015(平成	27)	2016(平成2	28)	2017(平成	(29)	2018(平成	30)	2019(令和	元)	2020(令和	Π2)
品目		前年比																		
茶系飲料	4,132,000	98.4%	4,336,000	104.9%	4,479,000	103.3%	4,521,700	101.0%	4,780,700	105.7%	5,158,600	107.9%	5,340,200	103.5%	5,546,400	103.9%	5,538,100	99.9%	5,242,800	94.7%
ミネラルウォーター類	2,582,600	123.0%	2,788,000	108.0%	2,865,300	102.8%	2,917,400	101.8%	3,038,500	104.2%	3,176,200	104.5%	3,254,900	102.5%	3,657,600	112.4%	3,639,600	99.5%	3,843,200	105.6%
炭酸飲料	3,558,900	103.1%	3,460,700	97.2%	3,641,500	105.2%	3,669,400	100.8%	3,729,200	101.6%	3,806,200	102.1%	3,842,900	101.0%	3,999,100	104.1%	3,959,900	99.0%	3,749,100	94.7%
コーヒー飲料等	2,899,500	100.8%	2,950,100	101.7%	2,952,400	100.1%	2,976,900	100.8%	2,978,200	100.0%	3,051,100	102.4%	3,137,700	102.8%	3,284,000	104.7%	3,312,400	100.9%	3,039,700	91.8%
果実飲料	1,625,100	106.4%	1,901,300	117.0%	1,965,500	103.4%	1,856,900	94.5%	1,808,300	97.4%	1,815,500	100.4%	1,684,100	92.8%	1,696,100	100.7%	1,607,900	94.8%	1,399,900	87.1%
スポーツ飲料	1,642,200	89.5%	1,618,700	98.6%	1,679,500	103.8%	1,523,100	90.7%	1,472,700	96.7%	1,500,600	101.9%	1,419,700	94.6%	1,497,100	105.5%	1,422,400	95.0%	1,269,600	89.3%
紅茶飲料	1,124,300	97.0%	1,095,800	97.5%	1,014,200	92.6%	960,800	94.7%	955,500	99.4%	963,300	100.8%	1,040,900	108.1%	1,045,900	100.5%	1,198,600	114.6%	1,105,600	92.2%
その他飲料	1,508,700	99.1%	1,615,800	107.1%	1,634,800	101.2%	1,616,300	98.9%	1,703,300	105.4%	1,784,700	104.8%	1,907,100	106.9%	2,020,100	105.9%	2,005,300	99.3%	1,929,100	96.2%
計	19,073,300	102.2%	19,766,400	103.6%	20,232,200	102.4%	20,042,500	99.1%	20,466,400	102.1%	21,256,200	103.9%	21,627,500	101.7%	22,746,300	105.2%	22,684,200	99.7%	21,579,000	95.1%

注)・全国清涼飲料連合会統計資料による。

<sup>・</sup>乳性飲料(希釈用)及び果実飲料のうち希釈用飲料はストレート換算したもの。

<sup>・</sup>ビールテイスト飲料の販売金額は除いた。

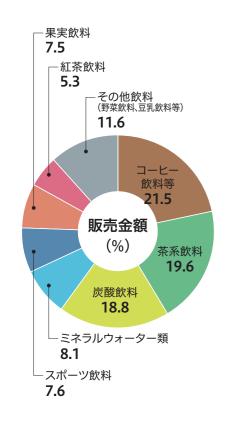
<sup>・2015</sup>年から「スポーツ・機能性飲料」は「スポーツ飲料等」に名称変更。

<sup>・2019</sup>年果実飲料、トマトジュース、乳性飲料(き釈用)、その他飲料、総計を翌年修正。

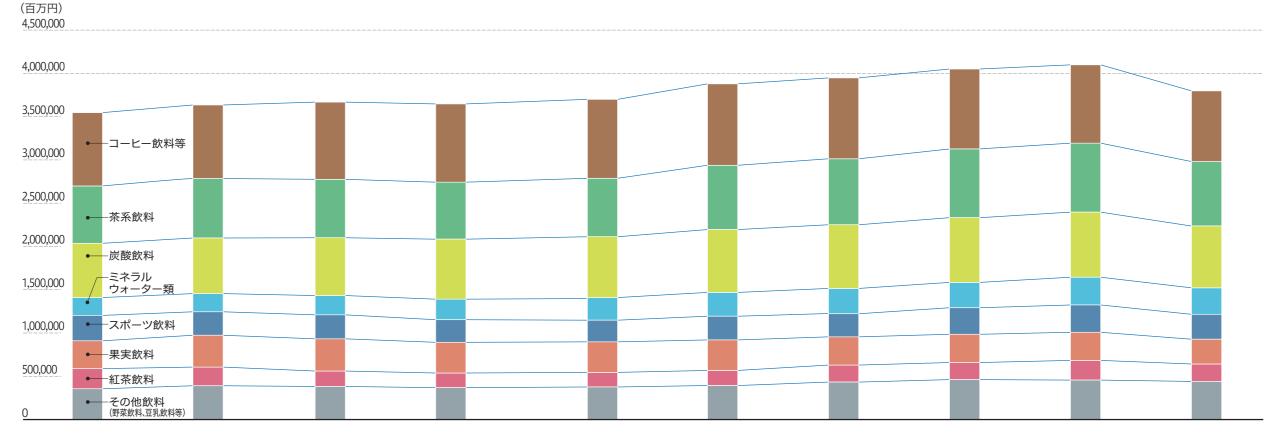
# 2020年 清涼飲料水品目別販売金額 (ダイジェスト)

2020年の販売金額は、7%減の3兆7,978億円と2年ぶりに4兆円を割り込みました。コロナ禍の影響などから大型容器が伸びたことや、自販機チャネルが苦戦したことが響きました。品目別でみると、1箱あたりの単価が高いコーヒー飲料がトップで8,167億円、茶系飲料が7,441億円、炭酸飲料が7,148億円となりました。

# 2020年 清涼飲料水 品目別販売金額シェア



#### 清涼飲料水品目別販売金額推移(2011~2020年)



(単位: 百万円)

年	2011(平成	(23)	2012(平成	(24)	2013(平成	(25)	2014(平成	26)	2015(平成	27)	2016(平成	(28)	2017(平成	(29)	2018(平成	₹30)	2019(令和	元)	2020(令和	Д2)
品目		前年比		前年比																
コーヒー飲料等	847,442	99.7%	849,782	100.3%	891,872	105.0%	904,179	101.4%	911,966	100.9%	940,581	103.1%	934,616	99.4%	922,982	98.8%	904,892	98.0%	816,791	90.3%
茶系飲料	662,649	96.3%	687,178	103.7%	675,352	98.3%	658,600	97.5%	675,496	102.6%	742,951	110.0%	762,275	102.6%	794,865	104.3%	797,202	100.3%	744,138	93.3%
炭酸飲料	626,513	102.1%	642,693	102.6%	667,866	103.9%	693,962	103.9%	703,386	101.4%	726,174	103.2%	735,867	101.3%	747,638	101.6%	751,970	100.6%	714,780	95.1%
ミネラルウォーター類	206,456	127.5%	210,040	101.7%	222,790	106.1%	237,348	106.5%	261,545	110.2%	275,012	105.1%	292,557	106.4%	292,998	100.2%	320,410	109.4%	305,998	95.5%
スポーツ飲料	293,581	92.6%	271,032	92.3%	277,284	102.3%	261,086	94.2%	250,289	95.9%	273,916	109.4%	266,904	97.4%	306,606	114.9%	315,737	103.0%	287,920	91.2%
果実飲料	321,350	104.3%	367,881	114.5%	372,034	101.1%	354,678	95.3%	352,690	99.4%	352,525	100.0%	325,976	92.5%	326,421	100.1%	324,862	99.5%	286,242	88.1%
紅茶飲料	232,902	94.1%	215,654	92.6%	178,188	82.6%	169,379	95.1%	168,646	99.6%	174,454	103.4%	196,517	112.6%	197,394	100.4%	227,451	115.2%	201,237	88.5%
その他飲料	355,689	96.9%	390,551	109.8%	382,438	97.9%	368,435	96.3%	376,481	102.2%	393,120	104.4%	433,107	110.2%	461,463	106.5%	455,986	98.8%	440,738	96.7%
計	3,546,583	99.8%	3,634,812	102.5%	3,667,824	100.9%	3,647,667	99.5%	3,700,498	101.4%	3,878,733	104.8%	3,947,818	101.8%	4,050,367	102.6%	4,098,510	101.2%	3,797,844	92.7%

注)・全国清涼飲料連合会統計資料による。

<sup>・</sup>乳性飲料(希釈用)及び果実飲料のうち希釈用飲料はストレート換算したもの。

<sup>・</sup>ビールテイスト飲料の販売金額は除いた。

<sup>・2015</sup>年から「スポーツ・機能性飲料」は「スポーツ飲料等」に名称変更。

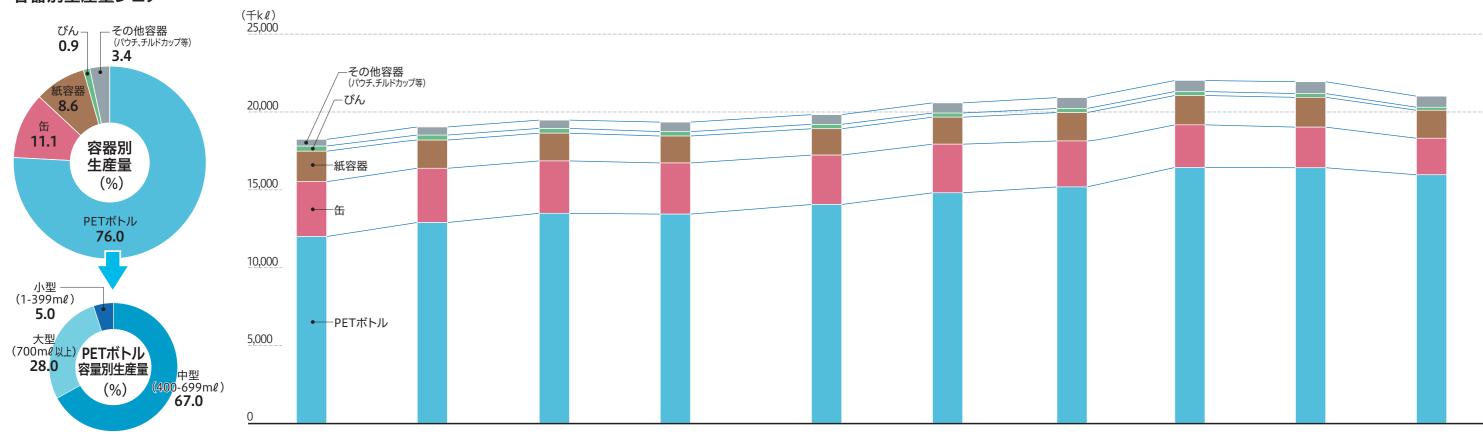
<sup>・2019</sup>年果実飲料、トマトジュース、乳性飲料(き釈用)、その他飲料、総計を翌年修正。

# 2020年 清涼飲料水容器別生産量

容器別の動向をみると、20年はいずれの容器もマイナスとなりました。PETボトルは3%減にとどまったため、シェアは76%と上がりました。15年に全体の70%を超えてからも引き続き比率を伸ばしています。 缶は10%減、紙容器は6%減、びんは19%減となりました。

# 2020年 清涼飲料水 容器別生産量シェア

## 清涼飲料水容器別生産量推移(2011~2020年)



(単位: kℓ)

年	2011(平成	(23)	2012(平成	(24)	2013(平成	25)	2014(平成	26)	2015(平成	27)	2016(平成	28)	2017(平成	29)	2018(平成	₹30)	2019(令和	元)	2020(令和	Д2)
品目		前年比		前年比																
PETボトル	12,005,181	102.7%	12,905,107	107.5%	13,497,098	104.6%	13,444,470	99.6%	14,062,731	104.6%	14,814,182	105.3%	15,190,872	102.5%	16,436,846	108.2%	16,421,264	99.9%	15,973,029	97.3%
缶	3,520,252	97.6%	3,481,594	98.9%	3,362,304	96.6%	3,282,994	97.6%	3,170,311	96.6%	3,119,599	98.4%	2,950,917	94.6%	2,738,906	92.8%	2,606,639	95.2%	2,342,759	89.9%
紙容器	1,956,666	104.4%	1,809,652	92.5%	1,780,672	98.4%	1,728,612	97.1%	1,692,718	97.9%	1,733,292	102.4%	1,820,010	105.0%	1,881,649	103.4%	1,913,340	101.7%	1,795,895	93.9%
びん	334,464	101.5%	323,632	96.8%	305,512	94.4%	283,034	92.6%	282,574	99.8%	267,499	94.7%	261,967	97.9%	255,242	97.4%	240,924	94.4%	195,632	81.2%
その他容器(パウチ、チルドカップ等)	424,254	109.1%	519,366	122.4%	533,803	102.8%	610,211	114.3%	623,047	102.1%	649,236	104.2%	700,235	107.9%	713,469	101.9%	761,069	106.7%	708,516	93.1%
計	18,240,817	102.0%	19,039,351	104.4%	19,479,389	102.3%	19,349,321	99.3%	19,831,381	102.5%	20,583,808	103.9%	20,924,001	101.7%	22,026,112	105.3%	21,943,236	99.6%	21,015,831	95.8%

注)・全国清涼飲料連合会統計資料による。

<sup>・</sup>シロップ類は除く

#### データ

# 2020年 生産量・販売金額の推移

			2020(令和	2)年	
大分類	中分類	生産量 (k <i>l</i> )	生産者販売金額 (百万円)	生産量 前年比	販売金額 前年比
	コーラ炭酸飲料	1,160,200	190,628	92.4%	92.9%
	透明炭酸飲料	418,300	78,198	99.8%	98.7%
	果汁入り炭酸飲料(5%以上10%未満)	481,200	93,435	88.0%	87.5%
	果汁入り炭酸飲料(5%未満)	<del>_</del>	_	<u> </u>	<del>_</del>
	果実フレーバー/着色炭酸飲料	216,500	34,264	86.8%	90.9%
		161,000	30,846	84.3%	88.1%
	プレーン炭酸水	315,700	44,503	100.6%	98.7%
	果汁/フレーバー入り炭酸水	255,200	35,453	115.0%	110.9%
	その他炭酸飲料	224,600	37,101	81.6%	80.1%
	栄養ドリンク炭酸飲料	516,400	170,350	106.1%	103.5%
	計	3,749,100	714,780	94.7%	95.1%
果実飲料等	果実ジュース(果汁100%)	376,200	92,437	87.9%	87.3%
2112 (22(1)	果汁入り飲料(50%以上100%未満)	36,200	9,271	53.6%	66.2%
	果汁入り飲料(ネクター類)	17,100	2,697	77.4%	73.9%
	果汁入り飲料(10%以上で上記以外)	593,700	120,577	94.1%	94.0%
	果粒入り果実飲料			<del>_</del>	
	果汁系ニアウォーター	220,700	27,789	79.4%	79.4%
	その他直接飲料	122,400	24,165	92.9%	97.0%
	き釈飲料(飲用時)	23,600	4,118	71.1%	87.7%
	(フルーツ)シロップ類	10,100	5,190	61.2%	62.4%
	計	1,399,900	286,242	87.1%	88.1%
コーヒー飲料等	コーヒー	1,799,400	520,455	91.7%	90.6%
- C 200710	コーヒー飲料	774,700	175,528	88.8%	86.1%
	コーヒー入り清涼飲料等	329,500	44,257	101.7%	100.0%
	コーヒー入り乳飲料	136,100	76,552	89.1%	93.1%
	計	3,039,700	816,791	91.8%	90.3%
紅茶飲料	HI	1,105,600	201,237	92.2%	88.5%
※系飲料計	ウーロン茶飲料	427,000	60,850	79.9%	80.2%
71(71(2)(1)141		2,968,600	443,395	100.0%	98.4%
	むぎ茶飲料	1,044,000	123,437	94.4%	94.0%
	ブレンド茶飲料	629,100	91,714	86.6%	84.1%
	その他茶系飲料	174,100	24,742	86.4%	81.0%
	計	5,242,900	744,138	94.7%	93.3%
 ミネラルウォー		3,843,200	305,998	105.6%	95.5%
豆乳類等	2 790	430,500	75,472	105.3%	107.3%
野菜飲料		591,300	163,505	101.2%	101.8%
スポーツ飲料	等	1,269,600	287,920	89.3%	91.2%
3.4.6.2.5.6.1. 乳性飲料	· ·	523,900	103,375	88.5%	87.5%
301年欧行 乳性飲料(き釈	用)(飲用時)	183,300	20,086	89.8%	95.6%
その他清涼飲料		200,000	78,300	92.5%	91.1%
	1		7 0,500	7 = 13 / 0	711170

- 1. 生産量は飲料各社から報告があった数量の合計を100の位で四捨五入した。端数処理を四捨五入により行っていることから、総数と内訳の計が一致しない場合がある。
- 2. 生産量はミネラルウォーター類については、日本ミネラルウォーター協会調べ。 豆乳類は日本豆乳協会調べ。
- 3. コーヒー入り乳飲料の紙容器生産量を含んでいない。2020年: 生産量 194,535kℓ、生産者販売金額45,047百万円。
- 4. 果汁入り炭酸飲料(果汁5%未満)を果汁入り炭酸飲料(果汁10%未満)へ統合、果粒入り果実飲料を果汁割合に沿った分類へ統合、紅茶飲料を茶系飲料から独立。にんじんジュースを野菜ジュースに統合、にんじんミックスジュースを野菜ジュース、野菜・果汁ミックスジュースへ統合。

#### コーヒー飲料 小分類

(単位: kℓ)

年	2018(平成30)	2019(令和元)	2020(令和	12)
品目				前年比
ミルク入り	1,719,300	1,688,900	1,472,800	87.2%
無糖ブラック(甘味料入りを含む)	1,136,700	1,220,000	1,178,800	96.6%
コーヒー入り乳飲料	166,100	152,800	136,100	89.1%
希釈用(飲用時)	27,700	12,800	15,000	117.2%
その他	234,100	237,800	237,200	99.7%
計	3,283,900	3,312,400	3,039,700	91.8%

その他: ミルクを含まない微糖コーヒー等

#### 紅茶飲料 小分類

無糖(甘味料入りを含む)

品目

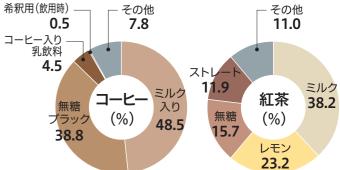
ミルク

レモン

ストレート その他

(	畄	壮	٠ ا	1	)

(+ ± 100)	
20(令和2)	コー
422,100	
256,500	
173,200	
132,000	
121,800	
1,105,600	



その他: ミルク・レモン以外のフレーバー(例:アップルティー等)

年

2020

#### 野菜飲料 内訳

(単位: kℓ)

年	2018(平成30)	2019(令和元)	2020(令和	12)
品目				前年比
野菜・果汁ミックスジュース	223,800	214,700	227,600	106.0%
野菜ジュース	139,400	128,500	135,400	105.4%
野菜ドリンク	79,100	82,300	80,000	97.2%
トマトジュース	125,900	103,100	95,800	92.9%
トマトミックスジュース	35,700	30,600	31,900	104.2%
トマト果汁飲料	23,600	24,900	20,600	82.7%
計	627,500	584,100	591,300	101.2%

#### その他清涼飲料

(単位: kℓ)

年	2018(平成30)	2019(令和元)	2020(令和	12)
品目				前年比
ドリンクスープ	39,100	49,700	42,000	84.5%
酢飲料	33,500	40,500	40,300	99.5%
ココア飲料	50,600	40,700	33,300	81.8%
甘酒	21,100	22,500	21,800	96.9%
栄養ドリンク(非炭酸)	15,900	15,000	11,000	73.3%
ゼリー飲料(果汁10%未満)	10,500	13,200	8,800	66.7%
しるこ・ぜんざいドリンク	4,700	4,400	4,200	95.5%
その他清涼飲料	38,700	30,100	38,600	128.2%
計	214,100	216,100	200,000	92.5%

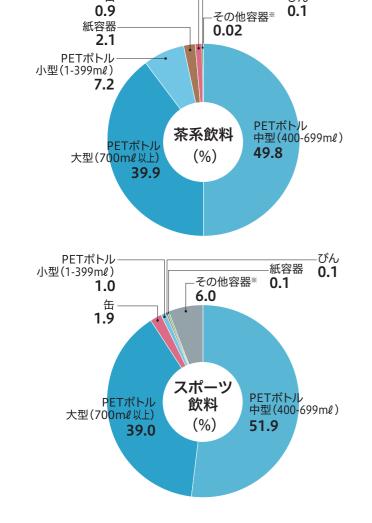
生産量は飲料各社から報告があった数量の合計を100の位で四捨五入した。端数処理を四捨五入により行っていることから、総数と内訳の計とが一致しない場合がある。

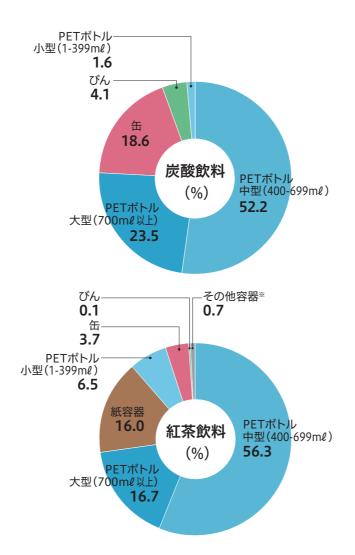
# 2020年 容器別品目別生産量(ダイジェスト)

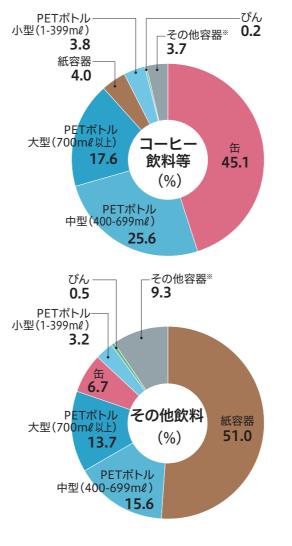
(単位: kℓ)

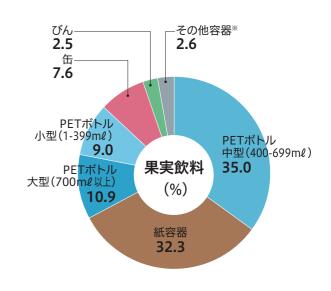
容器品目	小型 (1-399mℓ)	PETボトル 中型 (400-699mℓ)	大型 (700mℓ以上)	缶	紙容器	びん	その他容器(パウチ、チルドカップ等)	容器計
茶系飲料	373,106	2,573,597	2,061,272	46,496	108,529	3,840	977	5,167,817
ミネラルウォーター類	_	3,540,040	_	995	53	2,384	299,707	3,843,179
炭酸飲料	54,717	1,785,308	803,584	636,494	0	139,732	140	3,419,975
コーヒー飲料等	115,842	776,689	532,800	1,368,577	120,808	4,996	112,482	3,032,194
果実飲料	116,387	450,218	140,872	97,786	415,699	31,800	33,765	1,286,527
スポーツ飲料	12,619	658,565	494,512	24,077	1,332	1,153	76,091	1,268,349
紅茶飲料	70,492	610,713	180,809	40,562	173,967	1,529	7,594	1,085,666
その他飲料(野菜飲料、豆乳飲料等)	60,779	297,950	262,158	127,772	975,507	10,198	177,760	1,912,124
計	803,942	10,693,080	4,476,007	2,342,759	1,795,895	195,632	708,516	21,015,831

※ミネラルウォーター類は、PETボトルの容量別数量データなし。ミネラルウォーターのPETボトル生産量は中型としている。 ※シロップ類は除く









※その他容器: パウチ、チルドカップ等

#### データ

# 清涼飲料水の商品数・新商品数 特定保健用食品(トクホ)・機能性表示食品の生産量

# 新商品数は増加。茶系飲料のアイテムがけん引

2020年に発売された新商品数は1,399品、商品数は6,258品となりました。毎年多くの新商品が発売されています。最も発売されたのは茶系飲料で、255品が発売されました。炭酸飲料も前年より84品増えて232商品。

今回初めて集計しました、特定保健用食品(トクホ)・機能性表示食品の生産量は下記の通りです。食品で健康を維持したいというニーズにともない、科学的根拠(エビデンス)のある特定保健用食品や機能性表示食品の商品は需要が高まっています。2020年のトクホの生産量は4,948万箱、機能性表示食品は5,316万箱と両カテゴリーを合わせて1億箱の規模があります。

#### 清涼飲料水の商品数・新商品数

年	2016( <sup>x</sup>	2016(平成28) 2		<b>严成29)</b>	2018( <sup>x</sup>	2018(平成30)		令和元)	2020(令和2)	
品目	新商品数	商品数	新商品数	商品数	新商品数	商品数	新商品数	商品数	新商品数	商品数
ミネラルウォーター類	30	983	46	961	60	925	31	924	41	244
茶系飲料	125	618	177	575	161	600	133	617	255	688
紅茶飲料	57	245	55	231	67	236	49	231	86	258
スポーツ飲料	36	219	43	216	38	228	39	215	41	238
コーヒー飲料等	124	602	199	600	163	653	193	647	191	653
果実飲料	202	1,777	259	1,771	207	1,818	224	1,850	237	1,996
炭酸飲料	198	946	208	910	223	958	148	975	232	1,049
その他飲料(野菜飲料、豆乳飲料等)	195	886	197	927	193	1,006	257	1,032	316	1,132
総計	967	6,276	1,184	6,191	1,112	6,424	1,074	6,491	1,399	6,258

#### 特定保健用食品(トクホ)・機能性表示食品の生産量

(単位:千ケース)

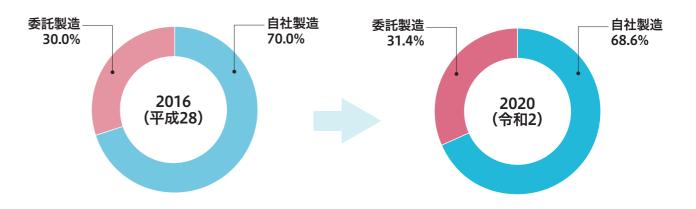
年品目	2020(令和2)
特定保健用食品	49,487
機能性表示食品	53,163

#### データ

# 自社(グループ)・委託製造量割合推移2016~2020年

#### 自社(グループ)・委託製造量割合推移2016~2020年

年品目	2016(平成28)	2017(平成29)	2018(平成30)	2019(令和元)	2020(令和2)
自社グループ	70.0%	69.7%	69.6%	69.6%	68.6%
委託製造	30.0%	30.3%	30.4%	30.4%	31.4%



### 清涼飲料業界2020年 10大ニュース

	新型コロナウイルス感染症拡大と天候不順の影響で、生産量2年連続の前年割れ
2	東京オリンピック・パラリンピック延期で各社戦略にも影響
3	コロナ禍でチャネルに明暗。自動販売機やCVSが低迷、スーパーは堅調、通販好調
4	PETボトル100%有効利用へ前進。「ボトルtoボトル」推進で業界と東京都が連携開始
5	コロナ禍で体調管理、健康維持のニーズが高まり、乳酸菌飲料・野菜飲料などが健闘
6	環境配慮と手間の軽減でラベルレス商品拡大。識別表示の省令改正が追い風に
7	自動販売機リサイクルボックス異物混入ゼロに向け、消費者調査、啓発、新リサイクルボックス検証
8	無糖炭酸水が13年連続で拡大、フレーバーに広がり
9	家庭内需要の高まりで定番品や大型PETボトルが拡大、希釈飲料も人気に
10	食品表示基準の経過措置期間の終了(栄養成分表示・添加物の分別表示・新製造所固有記号)
次	地サイダー&地ラムネの銭湯企画、日本赤十字社を通じ売上の一部で医療従事者を支援

全国清涼飲料連合会 12-13

## 分 類

#### 対象区分

清涼飲料水は、乳酸菌飲料、乳及び乳製品、アルコール飲料を除いた飲料水のこと。

#### 品目区分

(1)ミネラルウォーター類・・・・・ ミネラルウォーター類の品質表示ガイドライン等による。

#### (2)茶系飲料

■ウーロン茶飲料・・・・・・・・・ ウーロン茶飲料の品質表示ガイドラインによる。

■緑茶飲料・・・・・・・・・・ 緑茶を原料とする飲料(焙じ茶、抹茶、番茶を含む)。

■むぎ茶飲料・・・・・・・・・むぎ茶を原料とする飲料。

■ブレンド茶飲料・・・・・・・・ 異なった種類の茶を混合した飲料。

だみ茶、そば茶、マテ茶等)。

(3)紅茶飲料・・・・・・・・・紅茶飲料の品質表示ガイドラインによる。

ことをコンセプトとした飲料。

②カテキン、コラーゲン、カルシウム、各種ビタミン、アミノ酸類等の機能を有してい

る原料を含む飲料。

(5) **コーヒー飲料等・・・・・・・** コーヒー飲料等の表示に関する公正競争規約等による(炭酸入りのものを含む)。

#### (6)その他飲料

■豆乳類等・・・・・・・・・・・ 食品表示基準等による。

■野菜飲料・・・・・・・・・・・ 食品表示基準等による。

■乳性飲料・・・・・・・・・・・乳・乳製品を原料とする清涼飲料(炭酸飲料、果実飲料(果汁10%以上のもの)、コー

ヒー飲料等などを除く)。

■乳性飲料(き釈用)・・・・・・乳等省令では乳製品扱いだが、統計上は飲用時換算の数量を計上。

0.5%以上(チョコレートドリンクを含む)。

■栄養ドリンク(非炭酸)・・・・ドリンク剤類似清涼飲料水のうち炭酸を含まないもの(医薬部外品以外)。高麗人参、

まむし、ウコン、イチョウ等を含む(容器形態を問わない)。

コーヒー飲料等、スポーツ飲料、野菜飲料、その他飲料のドリンク栄養食等に分類さ

れるものを除く。

を上回るもの)を除く。

■その他上記以外の飲料・・・ドリンクスープ、しるこ・ぜんざいドリンク、甘酒については該当する欄に、ドリンク

栄養食、ミルクセーキ、みそ汁等については、その他清涼飲料。

(8)炭酸飲料 ・・・・・・・・・・・ 食品表示基準による。



#### 一般社団法人全国清涼飲料連合会

〒101-0041

東京都千代田区神田須田町2丁目9番2号 PMO神田岩本町2階 TEL. 03-6260-9260(代表) / FAX. 03-6260-9306

http://www.j-sda.or.jp/